

貿易調査會建言

外務省

1-1940

✓
建言書

之八

三十四年十一月二日 接受

主 菅 通 商 局

商 標 局

下 倉 隆 夫

一四七〇ノ一
商 標 局

1-1940

謹啓 曩キニ清國平和談判ノ
將ニ開始セラレントスルヤ本會ニ七ヶ
條項ヲ具シタル要望書ヲ當時ノ
内閣総理大臣並ニ外務大臣兩閣下
ニ提出セリ思フニ深厚ナル注意ヲ奉
フシタル事ト確信ス今ヤ北京議定
書ニ其基キ將ニ締結セラレントスル日清
通商條約ニ關シ本會ニ不取敢尤
ノ所見ヲ閣下ニ捧呈シ敢テ參酌セ

ラレニコトヲ請ヒントスルノ決議ヲナシタリ
抑モ日清通商條約ニ就テハ貿易上
現在及將來ニ於テ最モ利益ヲ得
害ノ關係ヲ有スル我國ノ如キハ特ニ
慎重ニ審議計案シ以テ百年ノ大
計ヲ謀ラサシム事ヲ期セザルハカラス
故ニ將ニ近キニ開始セラレヤキ通商條
約ノ締結ニ就テハ大ニ閣下ノ配慮ヲ
希望スヤキ條項尠ナカラザルヲ以テ
目下本會ニ特ニ之ヲ委員ニ付托シ

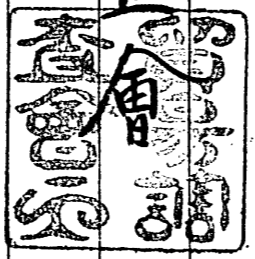
神北四全集

專ラ調査考リ西敷中ニアリ不日安未
ヲ具シテ閣下ニ捧呈スル処アルヤシト虫
モ談談判ノ局ニ當テラレントスル人士ノ如
何ニ忽チ條約上利益ノ得喪ニ關ス
ルヲ以テ適任ノ委員ヲ選定セラルド
キハ本會ノ深ク信スル処ナリト虫毛通
商年々タルヤ實際其局ニ當リ居
者ニテラサレハ利害得失ノ明晰セサル
モノアルヤキヲ以テ今固ニ特ニ適切ノ
實業家三名ヲ選拔シテ該條約締

結キ委員中ニ加ヘラレシコトヲ切望ス
友本會ノ決議ニ依リ建言仕候也

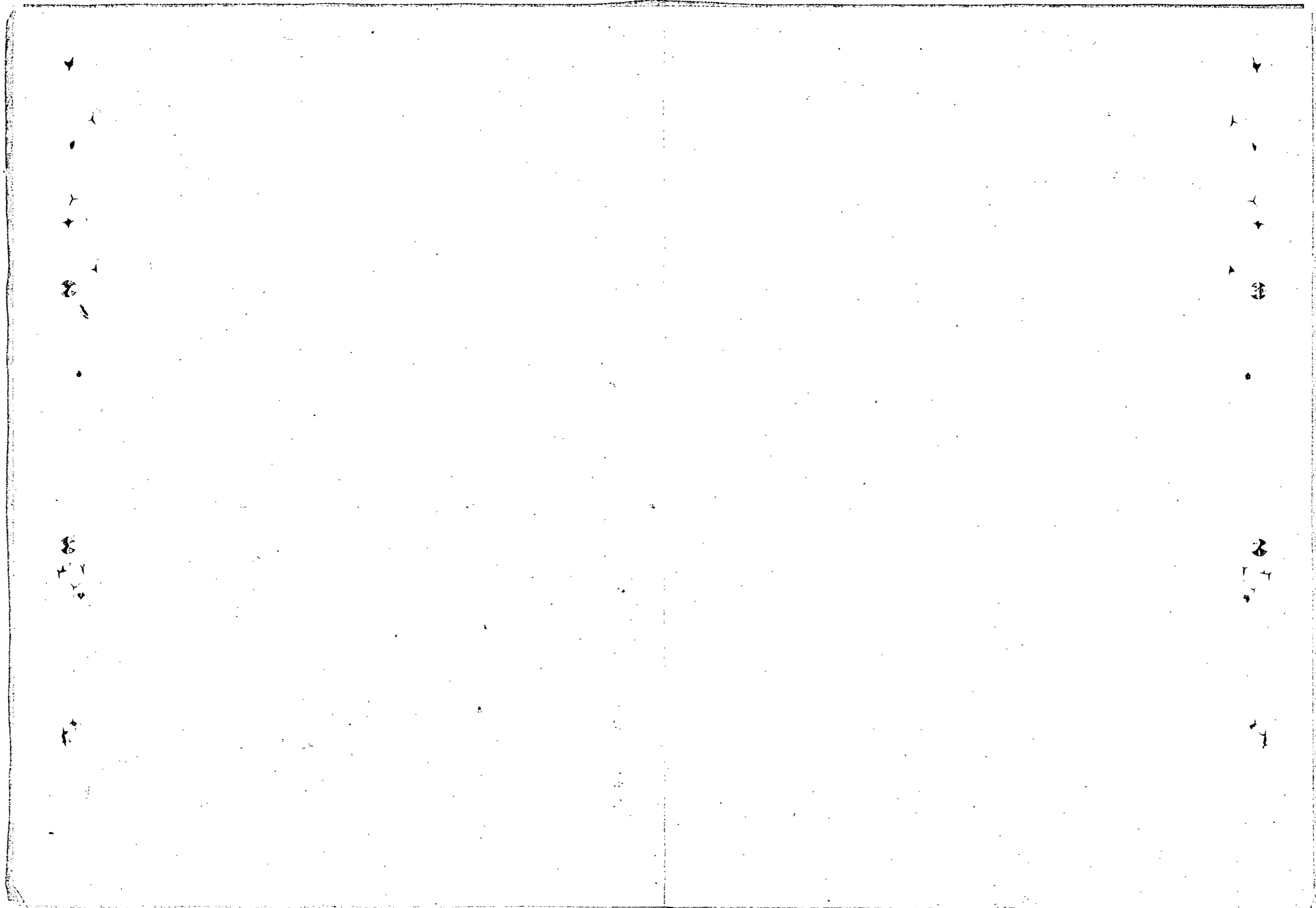
明治三十四年十月十九日

貿易調査會



外務大臣小村寿太郎殿

外務省



1-1940

